



①新庄北高最上校の生徒と保護者、教職員、卒業生らで大船渡市三陸町へのボランティア活動を実施。杉下仮設住宅団地での美化活動後、同団地のみなさんと一緒に記念写真を撮りました。

②旧三陸町と友好都市を締結した記念と三陸中央公民館の完成を祝し、昭和60年5月10日に植樹された梅の木。津波にのまれ、枝が折れたものの旧三陸町の方が、「きらないで下さい」と看板を建ててくれていました。温かいお心遣いに感謝いたします。(4ページに関連記事)

## ■ 今月の主な内容

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 町議会議員が決りました P.2 | ふるさと日記 P.8              |
| 地域活性化支援事業 P.3   | まちの話題 P.11              |
| 東日本大震災 P.4      | 知ってほしい子宮がんのこと P.12      |
| 浄化槽PFI事業 P.6    | 西公園多目的広場リニューアルオープン P.15 |

今月の納税は、  
**町県民税第2期と  
国民健康保険税第2期**です。



元気な東北、元気なまちづくりを目指して

## 峠恵子・赤倉温泉駅コンサート

7月30日、東日本大震災復興支援「峠恵子・赤倉温泉駅コンサート」が「がんばろう！東北」が、赤倉温泉駅舎内で行われました。

このコンサートは、赤倉温泉駅の有効利用と、先の東日本大震災の復興支援を目的に「富沢地区の関係者を中心に実行委員会を組織して開催されたものです。シンガーソングライターの峠恵子さんは、「青春の輝き」や「主人公」など全12曲を披露。すばらしい歌唱力で会場を魅了し、楽しいコンサートにしてくれました。また、コンサートの前には、富山観音太鼓保存会の子どもたちが富山観音太鼓を、赤倉小の子どもたちは花笠踊りを、富沢小の子どもたちが「マル・マル・モリ・モリ！」の踊りを披露したほか、震災後に松林寺の三部義道師が呼びかけた「まけない！タオル」のプロジェクトの中から生まれた東日本大震災復興支援応援歌をオペラ歌手の池田弦さんと子どもたちが発表しました。来場者は、「峠さんや子どもたちが震災復興へ向けた、ともにがんばろうという気持ちで伝わってくるステージだった」と感激していました。



お世話になった三陸町のみなさんへ

## 新庄北高最上校、大船渡市へ震災支援



7月31日、新庄北高等学校最上校の生徒と保護者、卒業生、教職員等約31人が大船渡市三陸町でボランティア活動を実施しました。

現在の最上校の生徒は、小学校6年生のときに、姉妹都市交流の一環として旧三陸町（現大船渡市三陸町）を訪問。磯釣りや海水浴を体験し、昼食には現地の方から美味しい磯焼きなどの食事を提供してもらいました。一方、三陸町の子どもたちは、冬に当町を訪問し、スキーや雪遊びなどを体験しました。児童交流は、20回を節目に今の高校1年生の生徒たちで終了しました。児童交流があったことを知る最上校の明石敦志教諭と英語講師のピーター先生が、全校生徒に三陸町へのメッセージの作成を呼びかけ、新北本校に通う生徒も参加しました。作成されたメッセージは約70通。ボランティア当日、大船渡市の職員に手渡しました。

現地では、被災者の住宅内の片付けのほか、仮設住宅団地内プランタに花を植栽するなど、最上校の特徴であるボランティア精神を生かした活動に励んできました。

夏の味覚を味わってください

## スキー場関係者がスイカ200個を提供

8月3日、最上町赤倉温泉スキー場愛好者有志による宮城県石巻市への「スイカのお届けボランティア」が行われました。

このボランティア活動は、赤倉温泉スキー場を長年利用している石巻市のみなさんに冷たいスイカを食べていただき、少しでも暑さを和らげ、復興の活力源にしてもらえればという有志のみなさんの呼びかけで実施されたものです。この活動に参加した方々は、赤倉温泉スキー場リフト（株）、ヒュッテ組合、町観光協会、赤倉温泉観光協会、町スキークラブ、新庄スパークルスキークラブ、各競技大会役員、スキー場愛好者などのみなさん。町も「震災復興はみんなの願い」とボランティア活動に協力しました。スイカは、前日に尾花沢から収穫してきたもので、代金はこの活動に賛同したみなさんが協力してくれました。



スイカは切り分けて、石巻市内と牡鹿半島の避難所や仮設住宅で、避難されているみなさんに提供されました。スイカを食べたみなさんは、「冷たくてとてもおいしい。ありがとうございます」と笑顔で答えてくれました。

## 最上町で生産されている全ての牛は、放射能検査を受けています

放射性物質で汚染された稲わらを食べた牛の肉から放射能が検出された問題で、山形県から出荷される牛肉は全てが放射能検査を受け、安全が確認された牛肉に「安全証明書」を添えています。

最上町で生産された肉牛も全て放射能の検査を受けており安全が確認されています。

牛肉は良質なたんぱく質が豊富で、筋肉や骨を丈夫にします。また牛肉に含まれるビタミンやミネラルは健康を保つためには欠かせない栄養素です。牛肉を食べると身体も脳も若返るとの研究結果もあります。



▲6月11日、最上肉牛祭りで提供されたサーロインステーキ

安全で美味しい最上町産の牛を食べて、元気に夏を乗り越えましょう。

## 8月10日現在、最上町の空中放射線量は、人体に影響ありません。

### ◇放射線の単位

放射線が人体に与える影響を表わす単位…シーベルト (Sv)

1 ミリシーベルト (mSv) = 1,000 マイクロシーベルト ( $\mu$ Sv) 【1 ミリ (m) の1,000分の1が1 マイクロ ( $\mu$ )】

### ◇当町の空中放射線量 (計測地点は、各校のグラウンド)

単位： $\mu$ Sv/h

計測箇所 計測月日	旧瀬見小学校		大堀小学校		最上中学校		赤倉小学校	
	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m
6月16日	—	—	0.09	0.07	0.07	0.09	0.08	0.07
6月28日	0.07	0.08	0.08	0.07	0.06	0.09	0.07	0.07
7月13日	0.08	0.08	0.09	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09
7月27日	0.08	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09
8月10日	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09

文部科学省が示している「校舎・校庭等の利用判断における暫定的な放射線量の目安は当面、1年間20mSv (時間あたりに換算すると3.8 $\mu$ Sv/h) 未満」と比較すると、当町の放射線量は大きく下回っています。

毎時3.8マイクロシーベルト

例えば、屋外の空中放射線量が0.11 $\mu$ Sv/hの場合で1日のうち屋外8時間、木造家屋内で16時間過ごしたときの1年間の放射線量を試算すると約0.54mSvになります。

(0.11 $\mu$ Sv/h × 8時間 + 0.037 $\mu$ Sv/h × 16時間) × 365日 = 537.28 $\mu$ Sv ≈ 0.54mSv

※屋内 (木造家屋) の放射線量は、屋外の40%とされています。

## 8月9日現在、最上町の水道から放射線は検出されていません。

◇検査項目 放射性ヨウ素、放射性セシウム

◇検査結果 不検出 (月2回検査しています)

○問い合わせ先 町災害対策本部 (事務局 役場総務課) TEL43-2111